

大信地域住民の悲願「県道矢吹天栄線」の整備促進について

本年度に町屋～日和田の概略設計。同地域の大動脈であるため円滑に進むよう協力する



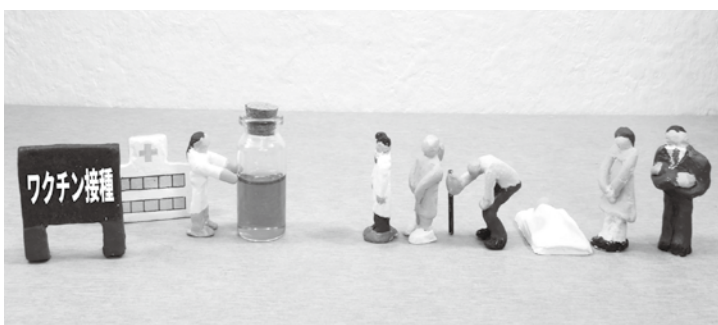
北野 唯道 議員

問 合併後15年が経過し、今後の大信地域の振興策について。住民の悲願である「県道矢吹天栄線」の整備促進について伺う。

答 県道矢吹天栄線は大信地域の動脈であり地域の通勤通学、生活道路として利用されているが、町屋から日和田までが未改良区間であるため、事業着手に向けた概略設計を本年度行う予定。市としても事業が円滑に進むよう協力する。

問 ワクチン接種について、高齢者の接種はいつ頃までに完了するのか。

答 4月末に国から高齢者の接種を7月中に終えるよう要請があったので、本市においても計画を前倒し、7月末までに希望する高齢者の接種が終了する見込みである。



問 令和2年度の決算見込みはどのようになっているのか。

答 歳入決算見込額は45億6159万6千円、歳出決算見込額は44億3106万円、歳入歳出差引額は13億3053万6千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）1億244万9千円を差し引いた実質収支見込額は12億2808万7千円である。

白河の誇る今井珠泉画伯、関根正二画伯の美術館新設を望む

広く市民の声を聞いて検討したい



佐川 京子 議員

問 宝酒造跡地の活用について白河の誇る今井珠泉画伯や関根正二画伯の作品を展示する美術館新設や武道館移設を検討して欲しい。

答 松平定信公の「三郭四園」の埋蔵文化財包蔵地なので具体的土地利用は全く決まっていないが広く市民の声を聞いて検討したい。



宝酒造跡地（郭内地内）

問 デジタル社会に向けて高齢者への対策について

答 インターネット環境やスマホのない方のために市役所1階、りづらん、表郷・大信・東の図書館にパソコンを設置しており、誰でも利用できる。中央公民館でスマホ教室も開催中である。

問 ポイ捨てをなくす取り組みについて

答 シルバー人材センターや町内会の協力で取り組んでいるが、抜本的解決策が見当たらない。今後、市民や関係団体事業者と連携し意識高揚モラル向上に努める。

問 現在市内でハクビシンと思われる小動物による自家用農作物の被害が顕著化しているがその対策は。

答 農林整備課が担当。現地に outgoing 被害の確認、有効な対応策を検討している。

市内の小中学校の女子トイレに生理用品を配備してはどうか

6月補正予算で配備する



室井 伸一 議員

問 コロナ禍における女性の生理の貧困について

答 誰もが気軽に利用できるように市の公共施設や小中学校の女子トイレに生理用品を配置することに加え、コロナ禍で家計の収入が減り、必要な生理用品を買えない女性の方などへ無償で配布するための予算を計上した。無償配布は、本庁舎及び各庁舎の窓口で実施し、配布の際、その他の困りごとなどの相談にも応じ、女性や子供の貧困、児童虐待などの実態の把握に努め、必要な人に支援が届けられるよう市民に寄り添った対応につなげていく。

問 福祉相談窓口について

答 市民の相談窓口は、人口減少、少子高齢化、人との結びつき希薄化など社会情勢の変化に伴い、複数の課題がある場合があり、どこに何を相談したらよいかわからず、必要な支援につなげていない方もいると思われる。コロナ禍においては、自分から困難を訴えることができない社会的弱者が増えていくことが想定されるため、様々な相談を一元的に受け止める福祉相談窓口を設置する。



法施行70年、白河市の国土調査はどうなっているのか?

わずかではあるが、確実に進行している。



大竹 功一 議員

問 新型コロナウイルスワクチン接種について、当初「希望せず」の市民が、急遽「希望したい」となったときの対応は、どうすれば良いのか。

答 現在のスケジュールでは11月下旬までに接種完了をしたいと考えているので、それまでに健康増進課へ連絡いただければ対応することができるとのこと。

問 市民の暮らしに「マイナンバーカード」が必要な時代となってきた。市民の取得状況は。

答 現在1万3,366枚、22.6%である。取得向上に向け、PRに努めていく考えである。



問 国土調査法が施行されて今年で70年が経過したと聞いている。白河市の地籍調査(国土調査)の進捗状況はどうなっているのか。

答 平成23年度までに市全体の98.07%、248.40km²の調査が完了し、残りは白河地域の4.89km²となった。その後平成24年に事業を再開し、立石山・天神町及び巡り矢の3地区0.19%、面積で0.49km²の調査が完了した。今後は石切場・九番町及び白井掛下地区の調査に入る予定である。



農業農村を次世代に引き継ぐためには？

維持発展のため、きめ細かな支援を行う



戸倉 宏一 議員

問 農業はその国の気候、風土、地形、歴史、文化、伝統が地域問題と混然一体となっている産業である。本市農業の維持・発展をどのように進めるのか伺う。

答 自然の中で生産することの喜びを感じられる農業の魅力や経営次第で他産業以上の収入が得られることを発信し、農業を選択するような環境を整備していくことが重要。具体的には、各種研修により、若手農業者のレベルアップを図る「しらかわ農業未来塾」や「農畜産物六次化・ブラン

ド化推進事業」や農作業の効率化・省力化が期待できる「農業の未来をつくるスマート農業推進事業」など、きめ細かい支援で対応していく。

問 若者の情熱や理想が次の時代の人材をつくる。高校生の市政への参加について伺う。

答 高校生が地域の課題について考え、自分たちが何をすべきか、地域や行政とどのような協働ができるのか議論することは大切である。地域課題解決へのアイデアを考える、仮称「高校生会議」を開催予定している。

夢みなみ農業協同組合
フォトコンテスト応募作品
より



白河市武道館の“今”と“これから”は!?

令和8年度までに、改築や大規模改修を目標に!!



吉見 優一郎 議員

問 市民への新型コロナウイルススワクチン接種に対する市長の思いを伺う。

答 まずは感染症対策の切り札であるワクチン接種を早期に進めるため、国、地方、医療機関等が連携し、全力で取り組んでいきたい。そして希望する市民の方の接種を11月上旬に完了するよう進めていきたい。また、今回のワクチン接種における様々な課題を検証することが何よりも大事ですので、今後ともこの種の疫病が発生した時には迅速かつ的確に対応できるように、万全な体制を保持していきたい。



問 白河市武道館の現在の状況と今後の見通し、公共施設個別設計画での位置づけと取組内容について

答 2月13日に発生した地震により受けた被害への対応としましては、今年度末の完成を目標に安全を確保できるように改修を進めていく。また今回実施する改修工事に関わらず、令和8年度までに改築や大規模改修を検討する施設に位置づけし、取り組んでいく。



脱炭素化の地域再エネ・林業振興・環境保全型農業推進を

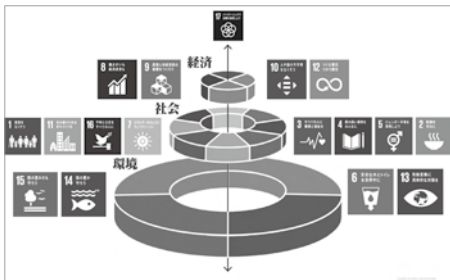
いずれも先進事例を参考に推進に向けて可能性を探る



荒井 壽夫 議員



SDGs(持続可能な開発目標)17の目標



SDG sウェディングケーキモデル (17の目標をウェディングケーキのように図式化したもの)

◎ ウッドショックが語られているが、植林・伐採の循環的森林経営、木質バイオマス利活用による脱炭素

◎ 前者は関係団体・部局と協議し審議会でも必要に応じ審議する。後者は国の動向、先進事例の参考に可能性を探る。

◎ 最近の地球温暖化対策推進法改正による地域脱炭素化促進事業の促進区域や政府の地域脱炭素ロードマップの脱炭素先行地域は本市の環境審議会で今後検討される脱炭素都市宣言とそれに必要な施策の対象になりうるかと考えるがどうか。

◎ 各地の環境保全米の学校給食への提供は大変参考になる。環境保全型農業の推進に向けて調査研究する。

◎ 政府によるみどりの食料システム戦略の公表のもと学校給食への提供実施の先進事例を踏まえての本市の環境保全型農業推進の今後の方向性を問う。

◎ 先進事例の視察・調査研究により林業振興の可能性を探る。

◎ 地域課題同時解決の先進事例を踏まえ本市の今後の林業振興の方向性を問う。

幼稚園入園を希望する方に対し、窓口相談のワンストップ化を!



大木 絵理 議員

今後、私立幼稚園の情報も提供できるよう窓口にはパンフレットを配置する



南湖公園内に設置されている看板

◎ 今までは私立幼稚園の詳細な説明は直接園に確認するよう案内していたが、今後は、情報提供ができるよう窓口にはパンフレットを

◎ 公立、私立幼稚園における、本市の窓口対応について

◎ 苦情を受けた場合は、事実の把握に努めるとともに、必要に応じ注意・指導をしている。なお、不適切な保育の情報があった場合には、特別監査を行う。

◎ 土壌改良等も含め、より安全で効果的な方法について、他の事例等を参考にし、研究していく。

◎ 検討すべきであると考え、市の考えは?

◎ 南湖公園における松くい虫の航空防除のための薬剤空中散布について、本市は環境汚染や健康被害の危険性が懸念される薬剤を毎年松林に散布している。観光の集客や、環境保全、健康被害防止の三つの観点からみても、今後、環境や健康に配慮した植物活性剤等へ変更する等、実施方法を検討すべきであると考え、市の考えは?

◎ 配置する。

中学生(12歳から15歳)へのワクチン接種は慎重に

一般接種(64歳以下)は年齢の高い順から



柴原 隆夫 議員

問 中学生への接種については、保護者や関係者から「打たないで」という不安や心配の声が多く寄せられている。新型コロナウイルスには未知のことがたくさんあり接種のメリットとデメリットがある。迷っている子どもや保護者に「こういう理由で接種すべきだ」と言うのではなく、結果的に接種するにせよ、判断となる情報を、丁寧に説明することが大切である。また、接種が進めば感染から守れる「集団免疫」が形成されることから慎重であるべきものと考えます。

答 子どもと保護者へ正確な情報を提供することは大切であることから教育委員会とも打ち合わせをしつつ検討していく。

問 接種会場での事務従事者や学校、幼稚園、保育園、児童クラブ、高齢者施設職員への優先接種は必要かと思われる。また一般接種はどのようなになるのか。

答 子どもや高齢者と接する職種であり、クラスター対策から優先接種を行い、一般接種については年齢の高い順から行う。



接種会場のひとつである
国体記念体育館

処理水海洋放出まで2年間、政府・東電に何を求めるのか?

支援と風評対策に全力で取り組むことを強く求める



石名 国光 議員

問 放射性物質を含んだ処理水の、海洋放出までの2年間で政府・東電に何を求めるのか市長に伺う。

答 県民は原発事故以降、風評被害や言われなき差別に苦しみながらも、風評払拭に努力を積み重ねてきた。このような中で処理水海洋放出を行えば、復興に全力を挙げてきた県民の努力を無に帰すのではとの懸念を伝えたところである。今後も、事故の当事者である東電と国は責任を持って国民・県民との信頼関係を構築し、風評で苦しむ事業者の支援や風評対策に全力で

取り組んで行くことを強く求めていく。

問 歴史的風致の維持・向上で①伝統技術の担い手不足の解消②旧奥州街道沿の歴史的建造物への回遊対策について伺う。

答 ①市が発注する太鼓櫓の改修工事や、伝統工事と工法を学ぶ機会を設け継承に努める。②小峰城・白河駅隣に整備予定の物産交流センターや脇本陣蔵座敷など、まちなかの見どころを散策できる仕組みづくりが重要と考えている。



「過ぎ去りし日の風景 白河 昭和30年代」
鈴木茂写真集より「七夕飾り(本町通り)」

若者の本市への定住、移住に対する市長の思いは？

若者や女性が住み続けたいまちを目指す



高島 裕 議員

問 人口減少対策の鍵となる若者への支援について市長の考えを伺う。

答 若者や女性を確実な定住に繋げるために安心して産み、育てられるよう、教育環境の充実をはじめ、市民が連携したオール白河で「住み続けたい」と思えるまちづくりを進める。

問 サテライトオフィスを整備する概要と目的について

答 コロナ禍において地方への移住に関心が高まるとともに、自宅以外での仕事場の需要に対しての受け皿とし、情報発信の拠点としていきたい。

問 市の職員数と増える業務についてどのように捉えているのか。

答 業務量の把握に努め、研修を行うとともに、適材適所の人員配置で効果的で効率的な行政運営に取り組み、市民サービスの向上に努める。

問 小峰城周辺の整備に伴い、お堀の水質調査、水辺環境はどのようになっているのか。

答 小峰城の魅力が高まるよう水質調査の実施に向け検討し、水辺空間が一体となった風格のある城郭とするため、お堀の環境改善に努めていく。



水草の一種であるヒシモ（菱藻）が生い茂るお堀。

多額の費用がかかる複合施設整備 是非についてもっと議論を！

5月発注の基本設計を検討するなかで幅広く意見を伺う



深谷 弘 議員

複合施設整備事業について

問 今年3月複合施設整備基本計画が策定された。計画では施設コンセプト・整備方針が示され、導入する施設の機能及び床面積（5000㎡）、事業費（約35〜45億円）も示されている。これまで、検討懇談会（有識者及び市民で構成）やアンケート・インタビューなどで市民の意見を聴いているが、多額の費用がかかる施設整備の是非について議論されていない。きちんと議論すべきではないか。

答 5月基本設計を発注している。基本設計検討委員会の設置、関係団体ヒヤリング等を実施し、幅広く意見を伺い、検討をすすめる。

市民生活支援について

問 「交通弱者」支援として、運転免許を持たない高齢者（75歳以上）や障がい者の移動手段を支援し、市内バス・タクシーの利用促進のため、運賃の一部に利用できる助成券を交付する事業が一昨年から始まっている。「交通弱者」といえば、生活保護受給者も同じである。対象を広げてはどうか。

答 事業の目的や効果を踏まえ、対象拡大の必要性等について関係部局と協議する。

